

# MRI清掃・消毒の手引き

MRI運営委員会  
2020/07/03 更新

感染防止のための清掃・消毒方法を例示します。実験者の責任のもとに遂行してください。

## 基本事項:

- 実験者は持参したマスクを着用する
- 手指の消毒にはスプレー型消毒液(アルボナース)を使用する
- 実験機器やドアノブ・机・椅子などの消毒には、スプレーを直接噴霧せず、アルコール脱脂綿か、ペーパータオルに消毒液をしみこませたものを使用する

## 流れ:

1. 実験開始前に、ドアノブ・机・椅子など、実験者・参加者の手が触れそうな箇所をあらかじめ消毒する。
2. 実験参加者に手指の消毒をお願いする。その場で、実験者も実施する。
3. 実験終了後は、撮像室内の緊急ブザー・ヘッドコイル・実験台など、実験者・参加者が触れた箇所を消毒する。
4. 操作卓の机やキーボードなどの機器を消毒する。また、実験参加者の退出後に、触れた箇所を消毒する。
5. 使用したペーパータオル、脱脂綿、耳栓などのゴミはポリ袋(小)にまとめ、MRI室外のゴミ箱に廃棄する
6. 使用後の検査着はポリ袋(大)に入れ、17号館の進化認知科学研究センターの洗濯機に入れる。
7. 検査着を入れたポリ袋は絞って丸め、センターの外のゴミ箱に廃棄する。

## MRI室内の備品:

- ポリ袋 大(使用済検査着の回収用)
- ポリ袋 小(清掃・消毒ゴミの回収用)
- 消毒剤スプレー(アルボナール)
- アルコール脱脂綿
- ペーパータオル

※ 備品の残量が少なくなったら、事務局(17号館)で新しいものを受け取ってください。